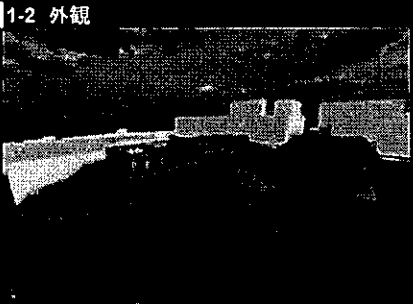


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SKIPシティC1街区施設建設工事 (CV棟)	階数	地上3F
建設地	埼玉県川口市	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2024年03月20日
敷地面積	13,099 m ²	作成者	山口 陽登
建築面積	1,309 m ²	確認日	2024年03月28日
延床面積	2,550 m ²	確認者	奥ノ木信夫



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.6**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 窓システムSC: 0.32、U=2.92(W/m ² K)、外壁その他: U=0.87(W/m ² K)。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上、または自動販売機等の設置。 電気配線が配管内とラック上に設置されますので、仕上げを故障させず、更新・メンテナンスができます。	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー BPI=0.71。 手動の開閉窓を使用している。 BEIm=0.69。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 節水コマなどに加えて、節水型器具も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
SKIPシティ01街区施設建設工事(GV2)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q1 建築物の環境品質					3.0
Q1-1 室内環境			0.40		2.9
1 音環境		3.0	0.15	-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	
1.2 遮音		4.2	0.40	-	
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2以上。	5.0	0.60	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	
2 温熱環境		2.7	0.35	-	2.7
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	
1 室温	窓システムSC:0.32、U=2.92(W/m ² K)、外壁その他: U=0.87(W/m ² K)。	3.0	0.38	-	
2 外皮性能		4.0	0.25	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	-	2.7
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	
1 昼光率		3.0	0.60	-	
2 方位別開口		-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	-	
1 昼光制御		2.0	1.00	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	
4 空気質環境		3.3	0.25	-	3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	
Q2 サービス性能			0.30		3.0
1 機能性		2.9	0.40	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上。	4.0	0.33	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。または自動販売機等の設置。	5.0	0.33	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計	内装仕上げ:EPは防汚性の高いものを使用している。 内装仕上げ:塩ビシートは防汚性の高いものを使用している。	4.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水PEP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	3.1
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	-	-
1 階高のゆとり			2.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性		電気配線が配管内とラック上に設置されますので、仕上りを故障させず、更新・メンテナンスができます。	5.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性		通信配線が配管内とラック上に設置されますので、仕上りを故障させず、更新・メンテナンスができます。	5.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-
Q3 緑化環境(敷地内)				0.30		3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽により良好な景観を形成している。	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1 エネルギー				0.40		4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.71	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用		手動の開閉窓を使用している。	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEU][BEI _m] = 0.69	4.1	0.50	-	4.1
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				0.30		3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル床シート 断熱材:ポリスチレンフォーム	4.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		LGSとOAフロアを使用している。	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-
1 消火剤			-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-
LR3 建物外環境				0.30		3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率78%	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	5.0	0.70	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	SKIPシティC1街区施設建設工事	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	3.0	=	6.8	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
ライフサイクルCO2排出率78%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし			

: 入力欄